



# ハクサイ編

病害虫注意報 2020年8月号



※農薬の使用はラベルの記載に従ってください。

## 育苗期・定植時のおすすめ防除

この時期の防除は、残効の長い粒剤や灌注剤を用いての省力化がおすすめで  
は種時おすすめ薬剤 定植時おすすめ薬剤

### プリンスフロアブル

ハイマグラノメカ・コナガ

0.5L/セル成型育苗トレイ1箱  
またはペーパーポット1冊 100倍灌注  
定植前まで/1回(散布2回と合わせ3回以内)



### プレバゾンフロアブル5

コナガ・アオムシ・ハイマグラノメカ・カブラハバチ・ヨウムシ

0.5L/セル成型育苗トレイ1箱  
またはペーパーポット1冊 100倍灌注  
定植期後半～定植当日/1回



### ミネクトデュオ粒剤

1g/株  
定植時株元散布 1回

アブラムシ類・コナガ  
アオムシ・ハイマグラノメカ 40g/セル成型育苗トレイ1箱  
またはペーパーポット1冊  
は種覆土後～育苗期後半 1回

カブラハバチ 40g/セル成型育苗トレイ1箱  
またはペーパーポット1冊  
は種覆土後～育苗期後半 1回



### 注意

ミネクトデュオ粒剤を使用した場合、  
下記の薬剤は苗場での使用ができません!!

- ベリマークSC
- ベネビアOD
- アクタラ粒剤5
- ジュリボフロアブル
- プリロッソ粒剤
- アベイル粒剤
- アクタラ顆粒水溶剤

コナガなどのチョウ目害虫や  
アブラムシ類に効果の高い  
ミネクトデュオ粒剤の処理が  
おすすめです

※弊社試験結果より



### 灌注処理剤の上手な使い方

- 灌注処理は定植3～5日前が最適です
- 定植数日前に処理して、十分に成分を吸わせることで高い効果を発揮します

粒剤処理2週間前後、または害虫発生時は、適宜散布剤による防除を行ってください

薬剤名	希釈倍数	使用時期	回数	散布可能な葉数
フローバックDF	1,000～2,000倍	前日(発生初期)	-	1.0葉
プレオフロアブル	1,000倍	7日前	2回	子葉
アフーム乳剤	1,000～2,000倍	7日前	3回	0.5葉
エルサン乳剤	1,000～2,000倍	21日前	3回	1.5葉

### 根こぶ病にお困りの方に!

## ネビジン 粉剤

### 根こぶ病

20～30kg/10a 1回

→ は種又は定植前  
全面土壌混和

20kg/10a 1回

→ は種又は定植前  
作条土壌混和



## おすすめ資材 植物本来の力を活性化!

光合成能力UP!

軟弱徒長株を強く!

## ファイトオーツ&エレマックス赤

1,000倍 葉面散布

1,000倍 葉面散布

- ▶ 転流量増加
- ▶ 毛細根の充実
- ▶ 抵抗性誘導物質の向上

- ▶ 樹を締めて徒長防止!
- ▶ 病害抵抗力の向上に!



肥料登録 生第83241号 肥料登録 輪第9423号

アルカリ性農薬、石灰硫黄合剤、アゾキシストロビン剤(アミスター)、クレソキシムメチル剤(ストロビー)、無機銅剤、ホルモン剤、液肥類との混用はさけてください